



理事長 本美勝久

ごあいさつ

皆さま方には、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も、当金庫の業務内容や活動状況などにつきましてご理解を深めていただくため、「半田信用金庫2019 ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

平成30年度の国内経済の動向を振り返って見ますと、わが国の経済は、政府・日銀の景気対策の推進により緩やかな景気回復を続けました。しかし年度後半には米中間の貿易問題や欧州経済の減速などによる世界経済の停滞がみられ、輸出と生産に弱めの動きがみられるようになりました。一方、内需は総じて堅調で民間の設備投資は増加傾向を続けており、緩やかな拡大基調を維持しています。

しかしながら景気の先行きについては、不確実性が高い状況にあります。大きな要因として、海外情勢、とりわけ中国の経済動向、ならびに本年10月に実施が予定されている消費税率引き上げの影響が考えられます。このうち消費増税については、既に経済への影響を緩和するための政策措置が打ち出されており、景気へのインパクトは限定的とも言われています。最大のリスクは、現在進行中の米中貿易問題が長期化し決着を見ない場合は、世界的な景気後退になる可能性が高いと言えます。海外経済の動向がわが国に及ぼす影響について、慎重に注視していく必要があると思われま

さて、当金庫は平成30年4月に策定した中期経営計画「はんしん『共創力』発揮3か年計画」に掲げた課題解決を推進しております。これにより、地域内のお取引先である法人及び事業者の様々な課題を解決し、地域の成長・発展に寄与していくことが当金庫に与えられた使命と考えております。

当金庫は、地域金融機関として地域社会・地域の皆さまに支えられ、これまで長い歴史を刻んでまいりました。これからも当金庫の持つ独自性、特性を活かした取組みを通じて、地域社会において必要とされる金融機関であり続けることを目指して役職員一同、一層の努力を重ねてまいります。

地域の皆様に信頼され愛される「はんしん」として今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和元年7月

理事長 本美 勝久